

平成 26 年度第 2 回流山市環境審議会会議録

平成 26 年 6 月 30 日 15 時 00 分開会 17 時 00 分閉会

新保國弘会長、赤坂郁美副会長、吉永明弘部会長、和田登志子副部会長、秋元五郎委員、
足原英二委員、金森有子委員、朽津和幸委員、中大路早智江委員、和田まつゑ委員
(欠席 2 名)

事務局

飯泉環境部長、南雲環境部次長兼クリーンセンター長、染谷環境政策・放射能対策課長
斉藤環境政策・放射能対策課長補佐、片浦環境政策係長、遠藤副主査、小山内主事
リジонаル・プランニング・チーム (コンサルタント) 1 名

傍聴者 1 名

1. 策定部会の審議経過について
2. 答申書 (案) について
3. 概要版について (報告)
4. 次回審議会日程について

委員からの意見等

発言者	要旨
部会長	(前回の環境審議会意見の反映と素案の変更点について、策定部会の経過を説明)
事務局	(補足説明) ・ 次回 7 月 28 日の審議会で、本日の意見を受けた調整結果を報告し、素案については取りまとめたい。 ・ 目標指標と市の取り組みについて。
会長	今報告いただいた策定部会の審議経過について、ご意見を。
委員	15 頁の目標指標について、環境 ISO を社内の複数部署がそれぞれ取得している場合は、単位は「社」では合わない。
事務局	そのような事例の可能性はあるため「個所」「事業所」とし、環境 ISO とエコアクションを分けて示すことも検討する。
会長	2 頁の PDCA サイクルの説明について、生物多様性ながれやま戦略も含める意味で、「計画・戦略」とできないか。また、評価の前提として調査を要するため、「点検・評価」とできないか。
事務局	部会と検討する。
委員	12 頁の「5R から 3R へ」の説明文について、「全国的な取組」と「取り組みやすい」が並んでいるが、文章として分かりにくい。
事務局	部会と検討する。
事務局	17 頁の下部で、「危険物等を下水に流さないようにしましょう」とやさしい言葉を用いているが、禁止されている行為なので、表現を再考したい。 36 頁の年表について、「第 1 回環境シンポジウム開催」に続く第 2 回以降はどうか。

会長	開催された。
副会長	この部分は、下にあるアースデーにならって、最初の開催ということを用意しているの で、「初めての」を追加したらいかがか。
副会長	17 頁のごみ処理経費のグラフにはタイトルがほしい。 アンケートの解説部分では、いつの何のアンケートかがわかるようにされたい。 24 頁で、市役所事務事業からの温室効果ガス排出にごみ焼却が含まれることについて、 修正された現状の書き方でも、まだ誤解される可能性が感じられる。
事務局	24 頁の部分は、クリーンセンターに搬入されたごみ焼却と書いたほうがよいかもしれない。
委員	8 頁の目標指標で、「遊休農地面積有効利用割合」の実績の変動が大きいことと、H25 から 目標が大きく減っていることの原因があれば教えていただきたい。 10 頁の目標指標で、「太陽光発電設備奨励金交付世帯件数」の「帯」が抜けている。「ぐ りーんバス利用者数」の H20 で小数点が抜けている。 12 頁の目標指標で、「最終処分量」の H21 の目標値が違っていると思われる。 16 頁上段のアンケートの説明では自然に関心を持つ市民が約 9 割とあり、21 頁では約 85% となっているので、書き方を統一されたい。 23 頁の温室効果ガス排出量のグラフは、10 頁と同様に単位を千 t-CO2 にされたい。 小数点以下の桁数が統一されていないのが気になる。
事務局	数値については、修正する。 遊休農地については、担当課に問い合わせる。
会長	数値は小数点以下を小さくすると見やすい。 温室効果ガス排出量には桁区切りはなくてもよいと思う。
事務局	他の行政文書とも比べて検討する。
会長	アンケートについては、参考資料に実施概要を掲載されたい。
事務局	アンケート実施概要を参考資料に掲載する。
委員	22 頁の地図は、別添のものに差し替えるのか。
事務局	提案を受けての案である。検討をお願いしたい。
会長	生物多様性ながれやま戦略策定時、専門家から 3 つの河川流域環境の違いについて強調 されていたことに配慮して、このような流域区分案を提示した。
副会長	この流域区分を取り入れるならば、3 頁の自然環境の説明にも反映されたい。行政地区名 は地図の中に書いた方がよい。生物多様性ながれやま戦略の情報に加筆したならば、そ の旨の注釈も示されたい。
委員	地図上の市外の青い点は池か何かか。
事務局	柏の葉公園の池である。近くの市内のものは調整地である。
委員	市外のものは特に表示する必要はないと思う。

委員	22 頁の地図については、部会で議論があったところだが、自分は当初の地形区分のものがわかりやすく感じる。この図は部会に提示されておらず初めて見るものだが違和感がある。
事務局	生物多様性ながれやま戦略の紹介という趣旨からは、元のまま、地区や、流域、地形を加えないほうがよいと思う。部会で検討いただきたい。
委員	部会での検討にあたっては、生物多様性ながれやま戦略の地図を提供していただきたい。
事務局	資料を用意する。
会長	部会を開く時間はあるのか。
事務局	7 月半ばで日程調整する。
事務局	計画策定は大詰めを迎えている。委員の方々にはご家族にも読んでいただいて、分かりやすい言葉が使われているかなど、もう一度確認いただければありがたい。
会長	次に、答申書案について。
事務局	(答申書案について説明)
委員	「市・市民・事業者」は、NPO の立場からは「行政・市民・事業者」のほうがわかりやすく感じる。
事務局	市の環境基本条例や総合計画の書き方に整合させ、計画でもこのようにしている。
部会長	3 と 4 について。進捗管理の周知・公表においては、施策の成果を数値の表だけでなく、「流山市のここがよくなった」というように具体的にわかりやすく示すことが重要である。運用の問題が大きいと考える。うまくいった部分は大きく宣伝し、うまくいかなかった部分もきちんと報告すべきである。また、各部局が横断的に連携するというのが、具体的にどうするのかをもっと示した方がよい。本計画は市民・事業者だけではなく、市の職員にも向けられているもので、他部局の事業に対して、環境基本計画の考え方、方針に基づいてきちんと意見を言い、矛盾する点は指摘すべきと考える。
会長	答申書（基本計画案）の表書き（鏡）に相当するもの故、どう書くべきなのか事務局と相談したい。
会長	次に、事務局からの報告事項を。
事務局	(概要版案、スケジュールについて説明)
副部会長	概要版は、子どもたちが読む気になるようなものが望ましい。また検討の機会を設けていただきたい。
事務局	配布資料は、事務局の検討段階のものなので、今後さらに検討していきたい。

<環境審議会の今後の日程>

7 月 28 日（月） 15 時～

10 月 日時未定

12 月 日時未定

<策定部会の今後の日程>

7 月 14 日（月） 13 時 30 分～

